

取扱説明書

G-Ignition™

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

-
- 最新のソフトウェアおよび取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

目次

目次	3
第1章 はじめに	4
1-1. 特長	4
第2章 セットアップ	5
2-1. 動作条件	5
2-2. インストール	5
2-3. アイコン表示	6
2-4. アンインストール	7
● Windows 8.1	7
● Windows 8	7
● Windows 7	7
第3章 設定画面の表示と終了	8
3-1. 設定画面の表示	8
3-2. 設定画面の終了	8
3-3. バージョン情報	8
第4章 ホットキー	9
4-1. ホットキー設定	10
第5章 カラー調整	11
5-1. カラー調整	12
5-2. Smart機能（FS2434のみ）	13
5-3. カラー調整データの読み込み・書き出し	14
● 読み込み	14
● 書き出し	15
第6章 オートカラー	16
6-1. オートカラーの設定	16
6-2. 未登録アプリケーションへのカラーモード の関連付け	17
第7章 マルチモニター環境で使用する	18
7-1. 手動設定	18
第8章 こんなときは	19
第9章 用語集	20
付録	21
商標	21

第1章 はじめに

G-Ignitionは、USBインターフェースを介して、マウスとキーボードを使ってコンピュータからモニターを調整するソフトウェアです。

1-1. 特長

● ホットキー設定

モニター本体の機能をキーボードの任意のキーに登録することができます。マルチモニター環境で使用している場合、同一機種であれば一括登録もできます。

● カラー調整

モニターのカラー調整機能をソフトウェア上からコントロールすることができます。マルチモニター環境で使用している場合、同一機種であれば一括調整もできます。また、調整値のインポート・エクスポート機能によって他のコンピュータと調整値をやりとりできます。同じゲームをプレイする仲間同士で調整値を共有することができます。

● オートカラー機能

アプリケーションにそれぞれカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます。

参考：使用例

- ・ カラーモードを特定のアプリケーション専用に調整し、オートカラー機能でアプリケーションにカラーモードを登録すれば、アプリケーションを起動するとすぐに専用のモニター設定に切り替わります。
-

● カラープロファイルの自動適用

G-Ignitionを起動すると、ご使用の機種にあったカラープロファイル（色温度6500K、ガンマ2.2）が自動的に適用されます。モニターのカラーモードを「Web/sRGB」（FS2434）、「Web」（FG2421）に設定して使用する場合に適切なカラーマネジメントがおこなわれます。

第2章 セットアップ

2-1. 動作条件

G-Ignitionを使用するには、次の環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 8.1（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 8（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 7 Service Pack 1（32ビット版および64ビット版）
コンピュータ	USBポート標準搭載

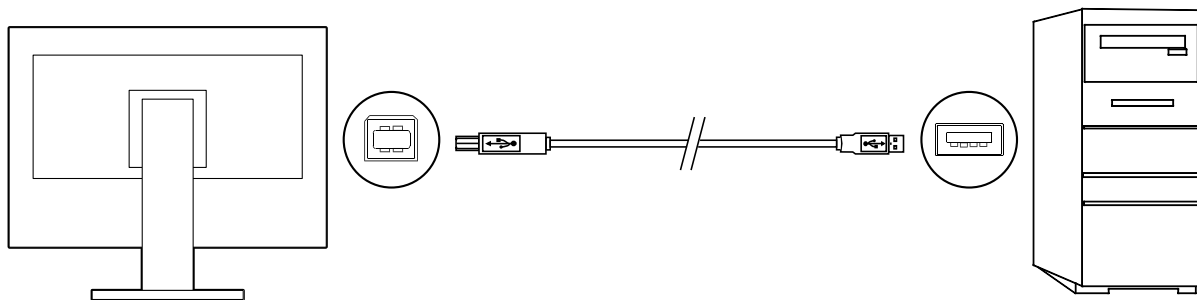
注意点

- 次のソフトウェアはG-Ignitionと同時に使用することはできません。次のソフトウェアがインストールされている場合、G-Ignitionのインストール時にアンインストールされます。
 - ScreenManager Pro
 - ScreenManager Pro for Gaming
 - ScreenManager Pro for LCD
 - ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)
 - ScreenManager Pro for Medical
 - EIZO EcoView NET Client

2-2. インストール

1. USBケーブルを接続します

コンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。



参考

- USB機器のセットアップについては、モニターの取扱説明書を参照してください。

2. ダウンロードしたファイルを解凍後、「Launcher.exe」をダブルクリックします。

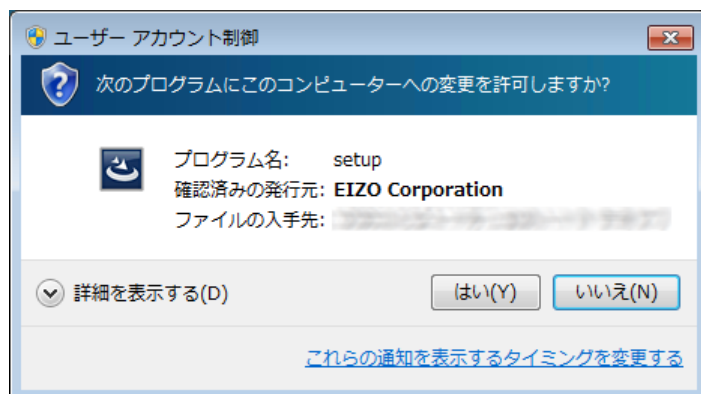
メニュー画面が表示されますので、「G-Ignition」をクリックします。

3. ソフトウェアをインストールします

「インストール」をクリックすると、インストーラが起動します。

参考

- ・「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。※1
「はい」をクリックすると、メニューが起動します。

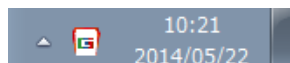


※1：設定によっては、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスは表示されません

画面の指示に従ってインストールします。

インストールが完了すると、G-Ignitionが起動して、アイコンがタスクトレイに表示されます。

G-Ignitionを起動すると、ご使用の機種にあったカラープロファイル（色温度6500K、ガンマ2.2）が自動的に適用されます。モニターのカラーモードを「Web/sRGB」（FS2434）、「Web」（FG2421）に設定して使用する場合に最適なカラーマッチングが可能になります。



2-3. アイコン表示

G-Ignition実行中はタスクトレイにアイコンが表示されます。動作状態により、アイコンの表示が異なります。

	G-Ignition は使用可能です。
	G-Ignition は使用できません。ソフトウェアがモニターを認識できていません。USB ケーブルが正しく接続されているか確認してみてください。それでもカラー表示されない場合は、コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてみてください。

参考

- ・マルチモニター環境で使用する場合は、「第7章 マルチモニター環境で使用する」（P.18）もあわせてお読みください。

2-4. アンインストール

● Windows 8.1

1. 「スタート」画面下の⓪をクリックします
「アプリ」画面が表示されます。
2. 「Windowsシステムツール」内の「コントロールパネル」をクリックします
3. 「プログラムのアンインストール」を選択し、クリックします
4. リストから「G-Ignition」を選択し、「アンインストール」をクリックします

● Windows 8

1. 「スタート」画面上のタイルがない場所でマウスの右ボタンをクリックします
画面の下部にアプリコマンドが表示されます。
2. 「すべてのアプリ」をクリックします
3. 「Windowsシステムツール」内の「コントロールパネル」をクリックします
4. 「プログラムのアンインストール」を選択し、クリックします
5. リストから「G-Ignition」を選択し、「アンインストール」をクリックします

● Windows 7

1. スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます
2. 「プログラムのアンインストール」を選択し、クリックします
3. リストから「G-Ignition」を選択し、「アンインストール」をクリックします

第3章 設定画面の表示と終了

3-1. 設定画面の表示

タスクトレイのG-Ignitionアイコンを右クリックし、リストから「G-Ignitionの設定」を選択します。G-Ignitionの設定画面が表示されます。

参考

- タスクトレイのG-Ignitionアイコンをダブルクリックしても設定画面が表示されます。
- タスクトレイにG-Ignitionアイコンがない場合は、次の方法でソフトウェアを起動します。
 - Windows 8.1の場合：
「スタート」画面で⬇️をクリックし、「アプリ」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリック
 - Windows 8の場合：
「スタート」画面で「G-Ignition Ver. x.x.x」と表示されたタイルをクリック
 - Windows 7の場合：
「スタート」-「すべてのプログラム」-「EIZO」-「G-Ignition」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリック



クリックすると当社Webサイトが開きます。

3-2. 設定画面の終了

各設定画面上の「閉じる」をクリックします。

3-3. バージョン情報

G-Ignitionのバージョンは、G-Ignitionタイトルバー左端にあるアイコンをクリックし、「バージョン情報」をクリックして表示します。

第4章 ホットキー

モニター本体の機能をキーボードの任意のキーに設定できます。キーボードを操作することで、機能を実行したときと同じ動作をします。

注意点

- G-Ignition実行中は、G-Ignitionで設定したキーを他のアプリケーションで使用できません。
- 使用しているアプリケーションに応じてホットキー設定を変えることはできません。

参考

- マルチモニター環境で使用している場合、すべてのモニターに同じホットキーを設定すると、ホットキーを実行したときに、登録された設定が同時に動作します。

FS2434の場合



同じ機種に同じホットキーを設定する場合にチェックします。



同じ機種に同じホットキーを設定する場合にチェックします。

4-1. ホットキー設定

1. マルチモニター環境の場合、設定するモニターを「モニター選択」プルダウンメニューから選択します

参考

- 表示されていないモニターがある場合は、「7-1. 手動設定」(P.18)を参照して手動設定をおこなってください。

2. ホットキーを設定します

ホットキーを設定する項目のボックスにカーソルを移動し、任意のキーを押します。「Delete」キーまたは「Back Space」キーを押すと、ボックスに「なし」と表示され、設定が解除されます。

参考

- 次のようなキーは設定できません。
 - 装飾キー単独 (Shift、Ctrl、Alt) または装飾キーだけの組み合わせ (「Ctrl+Shift」など)
 - システムに登録されているキーの組み合わせ (「Ctrl+Alt+Delete」など)
 - 次のキーの、単独での使用または装飾キーとの組み合わせ
 - Tab、Enter、Esc、Delete、BackSpace、Windows (⊞)
 - 「F12」キー単独
 - 「Shift+Caps Lock」キー

3. 「閉じる」をクリックします

ホットキー設定が有効になります。

第5章 カラー調整

カラーモードごとに、独立したカラー調整の設定ができます。また、カラー調整データをファイルから読み込んだり、書き出すことができます。

注意点

- カラー調整データの読み込み、書き出しは、Userモードでのみおこなうことができます。



基本的なカラー調整をします（「5-1. カラー調整」（P.12）参照）。

FS2434をご使用の場合、Smart機能の設定ができます（「5-2. Smart機能（FS2434のみ）」（P.13）参照）。

設定したカラー調整情報をファイルに書き出します（「書き出し」（P.15）参照）。

カラー調整情報をファイルから読み込みます（「読み込み」（P.14）参照）。

同じ機種に同じカラー調整を適用する場合にチェックします。

5-1. カラー調整

1. マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」プルダウンメニューから選択します

注意点

- 表示されていないモニターがある場合は、「7-1. 手動設定」(P.18) を参照して手動設定をおこなってください。

2. 「モード選択」プルダウンメニューから、カラー調整の対象となるカラーモードを選択します

3. 「カラー調整」をクリックします

カラー調整画面が表示されます。

4. 各パラメータを調整します

モニターと同様、「ブライトネス」や「コントラスト」などの調整ができます。この画面で調整できる項目は、ご使用のモニターのカラー調整機能で調整できる項目と同じです。（モニターのカラー調整機能で調整できる項目を確認するには、モニターの取扱説明書を参照してください。）



参考

- 「リセット」をクリックすると、現在使用しているカラーモードのみ、工場調整状態に戻ります。

5. 「OK」をクリックします

5-2. Smart機能（FS2434のみ）

1. マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」プルダウンメニューから選択します

注意点

- 表示されていないモニターがある場合は、「7-1. 手動設定」（P.18）を参照して手動設定をおこなってください。

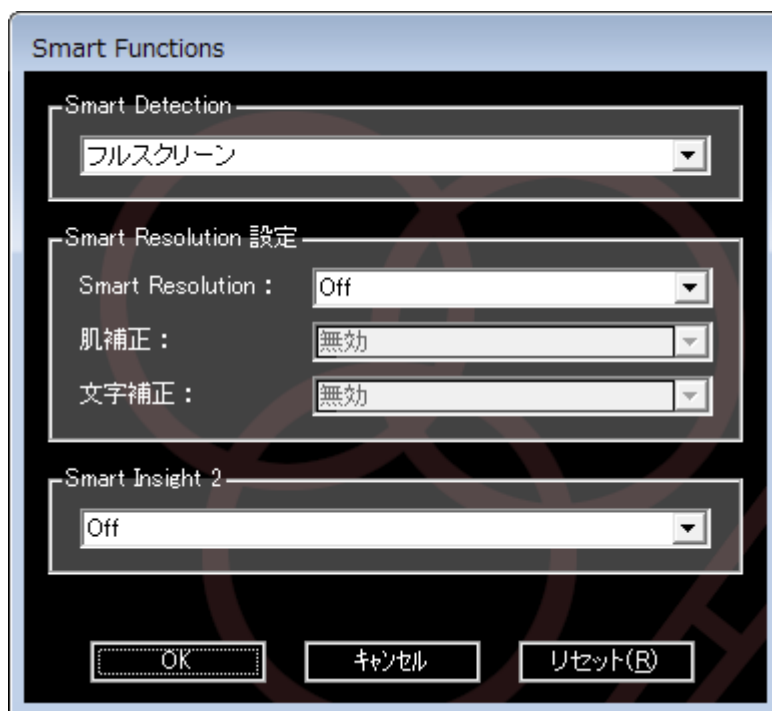
2. 「モード選択」プルダウンメニューから、対象となるカラーモードを選択します

3. 「Smart Functions」をクリックします

Smart機能の調整画面が表示されます。

4. 各項目を設定します

この画面で設定できる項目は、FS2434の「Smart Functions」で設定できる項目と同じです。詳細は、FS2434の取扱説明書を参照してください。



参考

- 「リセット」をクリックすると、現在使用しているカラーモードのみ、Smart機能の各設定が工場調整状態に戻ります。

5. 「OK」をクリックします

5-3. カラー調整データの読み込み・書き出し

ファイルからカラー調整データを読み込んだり、ファイルにカラー調整データを書き出すことができます。

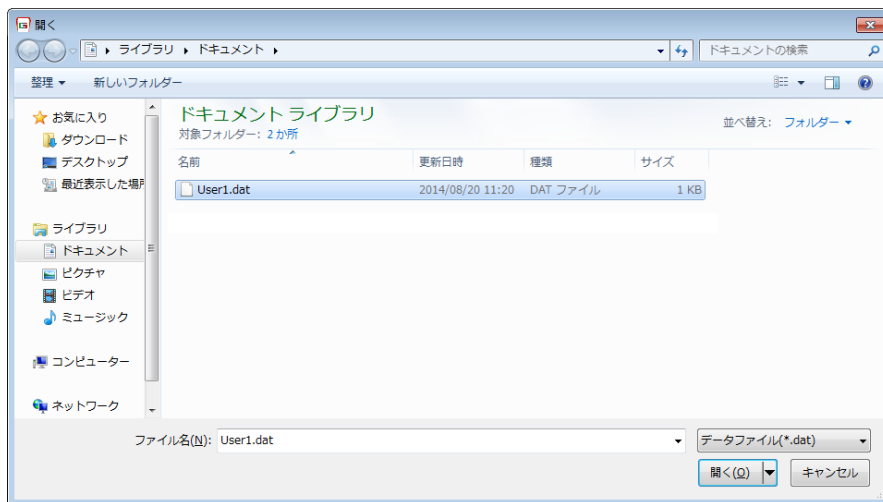
参考

- ScreenManager Pro for Gamingから書き出したデータをG-Ignitionに読み込むこともできます。

● 読み込み

データファイルを読み込んでモニターに設定します。

1. 「モード選択」プルダウンメニューから、カラー調整の対象となるカラーモードを選択します
2. 「インポート」をクリックします
3. 読み込むファイルを選択し、「開く」をクリックします



ファイルが読み込まれ、モニターにカラー調整データが適用されます。

●書き出し

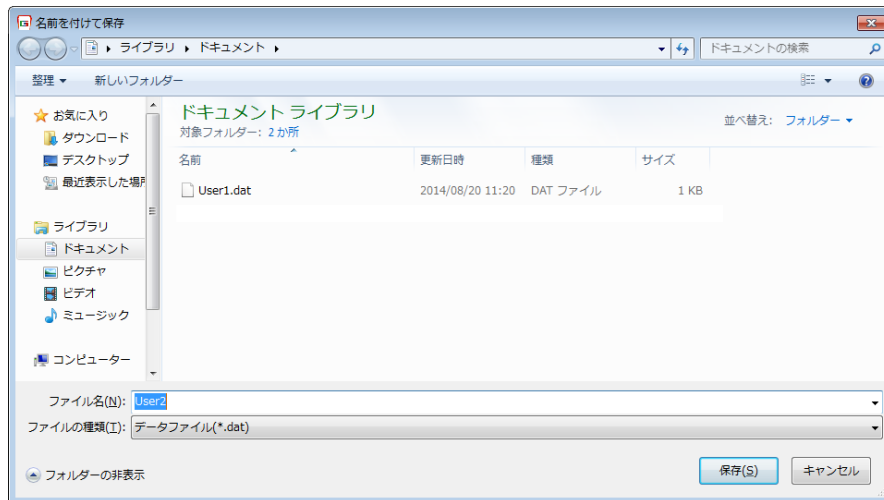
カラー調整データをファイルに書き出します。

1. 「モード選択」プルダウンメニューから、カラー調整データを書き出すカラーモードを選択します

2. 「エクスポート」をクリックします

ファイル保存ダイアログボックスが表示されます。

3. ファイル名を指定し、「保存」をクリックします



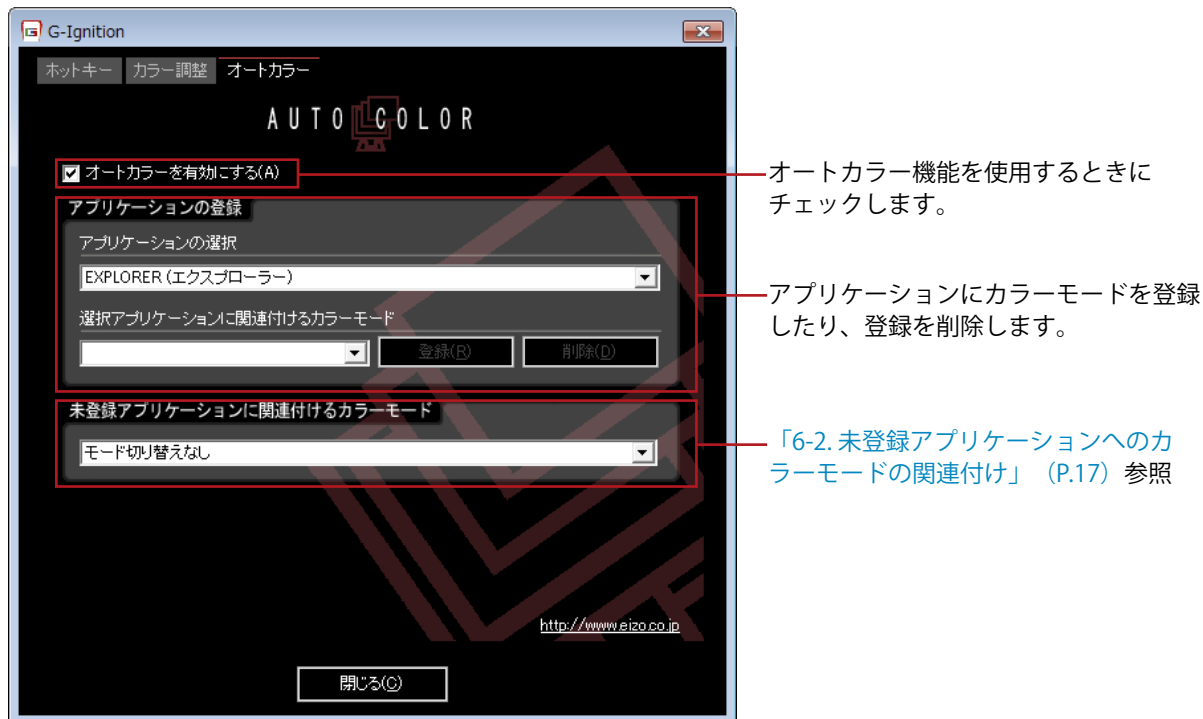
ファイルの書き出しが完了します。

第6章 オートカラー

アプリケーションにそれぞれカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます。

注意点

- ・ オートカラーを機能させるためには、タスクトレイにG-Ignitionアイコンが常駐している必要があります。



6-1. オートカラーの設定

オートカラーを設定するには、次の手順でアプリケーションにカラーモードを関連付けて登録します。

1. 「オートカラーを有効にする」をチェックします
2. 「アプリケーションの選択」プルダウンメニューから、アプリケーションを選択します

参考

- ・ プルダウンメニューには、起動中のアプリケーション名と、すでに登録されているアプリケーション名が表示されます。
- ・ Windowsのデスクトップに対しては、カラーモードを登録できません。

3. 「選択アプリケーションに関連付けるカラーモード」プルダウンメニューから、カラーモードを選択します

参考

- ・ モニター機種によって、プルダウンメニューに表示されるカラーモードが異なります。
- ・ カラーモードの詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。

4. 「登録」をクリックします

アプリケーションとカラーモードの関連付けが登録されます。

5. 続けてアプリケーションを登録する場合は、手順2～4を繰り返します

6. 「閉じる」をクリックします

オートカラーの設定が有効になります。登録したアプリケーションがアクティブになったときに、モニターのカラーモードがアプリケーションに関連付けられているカラーモードに自動で切り替わります。

6-2. 未登録アプリケーションへのカラーモードの関連付け



「アプリケーションの登録」で特定のカラーモードを登録していないアプリケーションに対してカラーモードを関連付けます。未登録のアプリケーションがアクティブになった場合、モニターのカラーモードが、関連付けられたカラーモードに自動的に切り替わります。

1. 「未登録アプリケーションに関連付けるカラーモード」プルダウンメニューからカラーモードを選択して設定します

参考

- ・「モード切り替えなし」を選択するとカラーモードは表示状態のまま切り替わりません。

第7章 マルチモニター環境で使用する

G-Ignitionをマルチモニター環境で使用し、複数のEIZOモニターを調整したり操作することができます。ご使用の前に次の項目を確認してください。当てはまる項目がある場合は、接続モニターの手動調整をおこなってください。

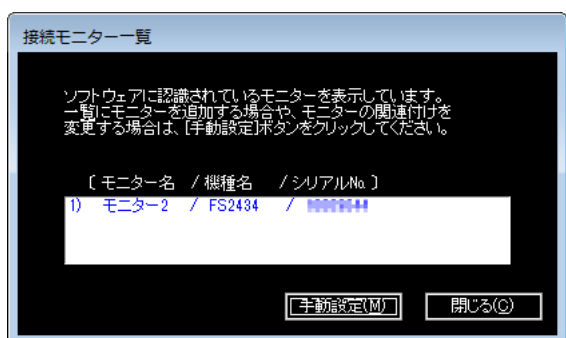
- USBケーブルが正しく接続されている状態で、コンピュータを再起動してもG-Ignitionアイコンが白黒で表示される。
- 設定画面の「モニター選択」プルダウンメニューに、接続されているモニターが表示されていない。
- 対象モニターの制御ができない、あるいは対象とは別のモニターが制御されている。

参考

- 「モニター選択」は設定画面（「カラー調整」、「ホットキー」）で確認することができます。


7-1. 手動設定

1. タスクトレイのG-Ignitionアイコンを右クリックして、リストから「接続モニター一覧」を選択します



2. 「手動設定」をクリックします
3. 画面の指示に従ってモニターを関連付けます

第8章 こんなときは

症状	原因と対処方法
1. アイコンがタスクトレイにない	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1の場合、「スタート」画面で⓪をクリックし、「アプリ」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックして起動します。 Windows 8の場合、「スタート」画面で「G-Ignition Ver. x.x.x」と表示されたタイルをクリックして起動します。 Windows 7の場合、「スタート」-「EIZO」-「G-Ignition」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックして起動します。
2. アイコンが白黒表示される 	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルが接続されているか確認してください。 コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてみてください。 以上の方法を試してもアイコンが白黒表示される場合は、「7-1. 手動設定」(P.18)を参照して手動設定をおこなってください。
3. オートカラーが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> オートカラーを機能させるためには、タスクトレイにG-Ignitionアイコンが常駐している必要があります。 「オートカラー」タブの「オートカラーを有効にする」をチェックしているか確認してください。 G-Ignitionの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。
4. ホットキーが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> G-Ignitionの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。
5. マルチモニター環境で対象モニターの調整および操作ができない／別のモニターが調整および操作される	<ul style="list-style-type: none"> USB接続されたモニターとソフトウェアが正しく関連付けられていない可能性があります。「7-1. 手動設定」(P.18)を参照して手動設定をおこなってください。

第9章 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2014 EIZO株式会社 All rights reserved.

第 2 版 2014 年 9 月

03V25120B2
(U.M-G-IGNITION)